



お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。



地域の助け合いの充実

サロンの充実

困った時には
 お互い様プロジェクト

皆さんとともに
 幸せをつかっていきたい
 今年もご協力お願いします

チャリティフェスティバル

新年のご挨拶



社会福祉法人
 諫早市社会福祉協議会
 会長 寺井 雄一

新年あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、旧年中は、本会の事業活動の推進に對しまして、多大なるご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響で不自由な生活が続いています。また世界的紛争、インフレ、物価高とますます先行き不透明な時代を迎えているという感があります。

私たち諫早市社会福祉協議会といたしましては、本年も地域福祉活動計画のもと、住みやすい地域づくりの促進に努めてまいります。

昨年、赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい運動の一環として開催いたしました二〇二二チャリティフェスティバルでは子ども・大人・高齢者、そしてそれを支えるボランティアの方々が一丸となって笑顔や達成感を共有することができました。併せて、二年目となる「困った時にはお互い様プロジェクト」ではお米・保存食等の寄贈が相次ぎ、生活に困っている方々でお申し込みいただいた多くの人々にお届けすることができました。

人の温かさで心は動くものです。笑いあったり、感動したり、助け合ったり、これから先も幸せは皆さんとともにつくっていくれればと思っております。

どうぞなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

今月号は、子どもと子育て世帯の幸せに取り組む活動を取り上げます。(2~3ページ)

お知らせ あなたの「かんしゃ」募集します

社協広報紙「かんしゃ」の表題の文字とイラストをお寄せください!

■応募方法：諫早市社会福祉協議会のHPから様式をダウンロードしていただき、ご記入の上、社協へ郵送ください。採用された方にはクオカード500円分をプレゼントいたします。

今月のイラストは正木結衣さん(12才)、文字は田苗香那さんに書いていただきました。ありがとうございます。

子どもと子育て世帯の 幸せ応援団

諫早市内には、子どもや子育て世帯を応援したいと奮闘している市民・団体がいます。

制度やサービスに限界がある中、その方々の活動は私たち諫早市民を大きく支えています。

子どもたちの健やかな成長を願う心温かい活動を紹介します。

学び

「やればできる」と感じられる環境を平等に

「必要だと思ったことにチャレンジができていることが活動の励み」と話すのは、NPO法人ターミナル学習室代表の岩永さん。

小学校で働きながら感じていた環境の違いによる学力格差。その課題に向き合いたいと小中学生を対象に無償で学習支援を行う活動を始め、もうすぐ4年になります。

同学習室で目指しているのが、学びに向かう力。子どもたちは、今日やるべき課題を決め、ボランティアとともに取り組みます。他にも、座禅やネットゲーム依存に悩む子どもたちの合宿など学びに向かうために必要な器を磨いています。学習や体験を通じて、ありのままの自分を認め「やればできる」という実感を持てることを心掛けているとのこと。

岩永さんは「子どもが学習に向かい合えるようになった等子どもの成長を見られたときが大変うれし

い」と優しく微笑みながら話します。

今はこども食堂とタッグを組んで、学校での授業を集中して取り組めるよう、朝食や文房具等環境の整備に向け動き出しています。

子どもたちに平等な教育機会を提供するために、周りの大人の支援が今後より一層求められています。



NPO法人ターミナル学習室

活動日時：平日午後4時～6時
土日午前10時～午後5時

場 所：中央公民館（市民センター）

詳しくは、[ターミナル学習室](#)

[検索](#)

安心

こどももおとなも居心地のいい時間を過ごしてほしい

令和4年6月に始まった、「こどももおとなも」社会福祉士と精神保健福祉士の資格を所持している川畑さんが始められた相談窓口です。相談は無料。LINE・メール・電話で相談ができます。

養子縁組の仕事を通して、子どもは子どもらしくいてほしい。そして自分も周りの人に支えられながら育児をしてきた経験から、誰かの力になりたい。そんな想いから活動を始められました。

現在多い相談は、子育ての相談。相談を受け付ける時は、相手の話を受け入れ、否定しないことを心掛けているとのこと。相談者からは、「話をして気持ちが楽になった」「誰かが見守ってくれているという安心感がある」というような声が寄せられます。「学校に行きたくない」、「さみしい」等子どもからの相談も受付けています。

川畑さんは「ゆったり楽しく居心地のいい時間を

過ごしてほしい。一緒に解決方法を考えます」と話します。

私たちは、様々な悩みや不安を抱え生活していても、すぐに解決できなくても、誰かに話すだけで、少し気持ちが軽くなることもあります。

あなたの悩みや不安、つづいてみませんか。



こどももおとなも

川畑朋子さん 1児のシングルマザー。

(連絡先)

電話番号：070-4338-0303

(午前9時～午後6時 ※高校生までの方はいつでも)

E-MAIL：loughingoutloud@gmail.com

LINE



食事

“食”でみんなに笑顔と元気を届けたい

まんぷく子ども食堂は、昨年3月に開設。始めたきっかけを代表の吉岡さんは「今は、子どもを取り巻く環境が複雑になり、尚且つ、コロナ禍で多くの人が不安や悩みを抱えて生活している中、“食”でみんなを応援したい。“食”は健康と発育の源。子どもにお腹一杯食べさせたい」と語られました。

10カ月が過ぎた現在では、親子だけでなく、ひとり暮らし高齢者なども利用され、美味しい食事を前に知らない者同士の会話も弾み、穏やかな雰囲気の流れています。毎回来ている母親からは「子どもがここに来ることをとても喜んでいる。手作りでも美味しい」と、料理がたつなく人の温かさに感謝していると話されていました。

そして、支援の輪も広がっています。地元の婦人会の皆さんが調理ボランティアをしている他、鎮西学院大学や向陽高校の学生さんもボランティアに來たり、民間企業からは食材の寄附があったりと活動への理解と協力者も少しずつ増えてきています。

今後について、吉岡氏は「食の問題は、子どもだけではない。生活困窮や孤食、偏食など様々。食を通じた支援が多くの方に届くようにしていきたい。そして、地域の人にはこのような活動があることを知ってもらい、子どもを支える支援の輪に入って欲しい」と呼び掛けています。



まんぷく子ども食堂

活動日：毎月第1・3土曜日
 時間：午後4時30分～6時30分
 活動場所：西諫早公民館
 利用料：子ども0円、大人100円
 問い合わせ先：090-1978-3713（吉岡さん）

市内には他にも子ども食堂があります！

YYこども食堂

活動日：第2・第4土曜日
 時間：午前11時30分～午後1時
 場所：城見町公民館
 利用料：100円

ジスコ不動産こども食堂

活動日：第2水曜日	活動日：第3水曜日	活動日：第3日曜日
時間：午後4時30分～7時	時間：午後4時30分～6時30分	時間：午前11時～午後1時
場所：諫早パルファン	場所：西諫早公民館	場所：喜々津ステーションホテル

利用料：子ども（中学生まで）無料

諫早未来食堂

活動日：第4土曜日
 時間：午後3時～5時
 場所：長崎笑屋 諫早店
 利用料：5円

諫早市内には、紹介した活動以外にも子ども、子育て世帯を応援したいと奮闘されている方々がたくさんいます。子どもをはじめ、そうした活動をしている方々も地域の宝です。子どものこと、住んでいる地域のことを一緒に考えていきませんか。そして、みんなが安心して生活できる地域を目指して、自分達ができることを始め、幸せを一緒につくっていきましょう。

2月のふれあい福祉相談

日常生活における様々な心配ごと・悩みごとなど、何でもおたずねください。

一般相談	開設日	月曜日～金曜日（祝祭日を除く）
	開設時間	午前10時～午後3時
	場所	ふれあい福祉相談センター （諫早市社会福祉会館内） 【専用電話】 23-7022

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどをおたずねください。

無料専門相談	開設日	2月17日(金) 弁護士
	開設時間	午後1時30分～4時
	場所	諫早市社会福祉協議会 電話 24-5100

※専門相談は、10日前までに予約をお願いします。

ボランティアに関することは、**ボランティアセンター**にご相談ください！

やりたいことが決まっていなくても大丈夫です。あなたの何かしたいを応援します。ボランティアに関すること、お気軽にご相談ください。

TEL:0957-24-5100

第17回 諫早市社会福祉大会

日時：令和5年2月16日（木）
 午前10時～12時
 場所：諫早文化会館
 内容：式典・活動発表・パネル展
 ミニナイスハートバザール
 問い合わせ先：TEL：0957-24-5100

あなたのしあわせは？

「子どもの寝顔を見ながら、夫と語り合うときです」 田苗香那さん

シリーズ地区社協 第37回

みんなで支える地域づくり

西諫早小学校区社会福祉協議会

西諫早小学校区つてどんなところ

西諫早小学校区は、小船越町、中尾町、山川町、馬渡町で構成されています。昭和40年代に開発されたニュータウンでは特に高齢化が進んでいることから、支え合いの必要性を感じ、地域連携に力を入れています。地区社協のみならず、他の住民組織と連携し、地域の活性化につながる人づくりや多世代との交流を深める活動に取り組んでいます。

米作り体験を通じて

米作り体験は、日本人の主食であるお米を作る過程を通じて、私たちの食生活が多くの方の苦労や努力で支えられていることを実感してほしいと先代の西諫早小学校長と健全育成会会長（当時農業委員）の計らいで始まりました。毎年小学校5年生と一緒に、田植えから稲刈り、脱穀、餅つきまで体験します。指導は、地区社協や健全育成会のみならず、民生委員、福祉協力員など多くの地域住民が携わっています。

子どもたちの多くは初めての経験で、みんな真剣に生き生きと活動に取り組みます。参加した子どもからは、「米作りは一人ではできない。多くの方に支えられていることを学んだ」「地域の人と顔見知りになり、挨拶するようになった。自分の暮らすまちが好きになった」などの声が聞かれました。米作りを通して、地域住民同士

諫早市社会福祉協議会だより「かんしゃ」

会長	辻 良彦
人口	8,759人 (令和4年12月1日現在)
高齢化率	32.7%

西諫早小学校区社会福祉協議会つてどんなことしているの？

- ふれあいいきいきサロン(8箇所)
- ひとり暮らし高齢者の集い
- ふれあい食事サービス
- 下校見守り
- 米作り体験指導
- 世代間交流会
- 福祉協力員設置、研修
- 広報紙発行

の絆が深まり、食育だけではなく、地域への愛着形成にもつながっています。

地域のつながりを大切に

子どもの成長に、地域の支えは必要です。多くの地域住民が子どもとの育成に携わること、地域を支える人材育成につながります。また、顔がみえる関係が築かれることで安心安全な住みよいまちになります。社会長は「これからも地域連携を進め、地域住民のつながりを深める活動を推進します」と思いを語りました。



米作りの体験指導のようす

ご寄付ありがとうございました

次の皆さまから、心温まるご寄付をいただきました。ご厚志に沿うよう地域福祉事業のため大切に使用させていただきます。

令和4年12月1日～令和4年12月31日受付分

- 物品寄付
- ▶ 川原 厚子様 (日の出町)
 - ▶ 和裁同好会つづれ会
 - ▶ 株グリーンアローズ (高来町)
 - ▶ 長崎県南部地区郵便局長会諫早市第一部会
 - ▶ 生長の家 諫早道場 (泉町)
 - ▶ 安勝寺 (金谷町)
 - ▶ 清水 繁春様 (富川町)

GIVEAWAY!
LINE友達追加特典
生活応援品
プレゼント
お一人様 1点限り

Facebook

Instagram

Follow me

編集発行 社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会
〒854-0045 諫早市新道町948番地
TEL 0957-24-5100 FAX 0957-24-5101
ホームページ <http://isahaya-shakyo.jp>
(諫早市社会福祉協議会で検索ください)

印刷：諫早印刷株式会社

諫早市社会福祉協議会だより「かんしゃ」では、広報誌に関するご意見、地域で行われる福祉活動や行事の情報を皆様から募集しています。